

# おマチカネ、空席ワニ博士

2025年2月15日 第16回仕掛学研究会 大阪大学 鎌仲永羽 中村耕蔵 下田あい 岩本脩

## 1. 背景

混雑時の図書館下食堂にワニ博士のイラストをプリントした旗(図1)を設置することで、空席への誘導をスムーズにし、空席の使用率が上昇するかどうか検証した。2025年6月、7月実験を2回実施し、今回は具体的な内容及び実験結果を報告する。

図1 →



## 2. 実験①

大阪大学豊中キャンパスの図書館下食堂の一部の席において、2025年6月19日、23日、24日、7月4日、9日の各12時15分、12時30分に何も仕掛けを設置していない状態で席の使用率の測定を行った。その結果、1週間の平均使用率は**62.0%**であった。

## 3. 実験②

同じく図書館下食堂にて、2025年6月27日、30日、7月1日、2日、3日の各12時15分、12時30分に図1の旗を設置した状

態(図2)で実験を行った。その結果、1週間の平均使用率は**70.2%**に上昇した。また、Welch T検定の結果、この仕掛けには**有効性がある**ということが可能であった。

↓図2



実験結果

(上段: 12時15分、下段: 12時30分)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
仕掛けなし	席の使用率(%)	52	54	57	44	69
仕掛けあり	席の使用率(%)	79	69	59	69	67

  

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
仕掛けなし	席の使用率(%)	67	58	73	72	58
仕掛けあり	席の使用率(%)	73	75	82	78	68

## 4. 結論と今後の課題

全体を通して、仕掛けなしに比べ仕掛けありだと**空席の使用率が上昇した**。ただし、仕掛けの実用化には旗の強度、デザイン、仕掛けの周知方法について吟味する必要がある。